

令和4年 第18回

仙北市教育委員会定例会会議録

令和4年12月15日

仙北市教育委員会

令和4年 第18回 仙北市教育委員会定例会会議録

1 開会宣言 令和4年12月15日（木） 午後2時30分

2 場 所 西木総合開発センター 2階 集会室

3 出席委員

教育長	須田 喬
教育長職務代理者	坂本 佐穂
委員	橋本 勲
委員	細川 伸也

4 出席した事務局職員

教育部長	藤村 幸子
教育次長兼学校教育課長	鈴木 徹
教育次長兼角館公民館長	佐々木 信介
教育総務課長	湯澤 満
学校適正配置準備室参事	毛利 俊介
生涯学習課長	武藤 寛幸
中央公民館長	高橋 良宣
田沢湖公民館長	大石 基
田沢湖図書館長	真崎 智明
学習資料館・イベント交流館長	松橋 幸太郎
平福記念美術館参事	高橋 百合子

5 議事

(1) 議案審議

議案第28号 令和5年度仙北市一般会計予算の教育費について

(2) 報告事項

報告第28号 仙北市議会一般質問について

報告第29号 就学指定校の変更の承認について

6 審議の経過及び結果

(須田教育長)

ただいまから、令和4年第18回仙北市教育委員会12月定例会を開催いたします。

それでは、本定例会の出席委員、職員を紹介します。

－出席委員、職員を紹介－

会議書記には上野課長補佐を任命します。署名員は、私と委員から橋本委員を指名します。前回会議録の承認についてですが、会議が終わりしだい坂本教育長職務代理者に署名

をいただきたいと思います。

教育長挨拶ですけれども、私の方からは2点報告させていただきます。

1点目が、予算作成にあたって行った教育委員会内会議についてです。今回市当局から4%削減の指示があり、課、所単位では削減することができないということで、管理職並びに予算編成に関わる職員が一堂に会し、意見交換会と教育委員会内の査定と順位付けを行いました。数時間かけて行いましたが、教育委員会事務局においては初めての試みでした。意見交換会においては、うちのこの事業を譲るからこの事業は通した方がよいとか、前向きな意見交換をすることができました。最終的には子どもに関わる予算を最優先することが確認されました。今後市長査定の際にも教育委員会内の順位付けを優先し、当局と交渉していく予定です。

2点目が1月11日に行われる子ども議会についてです。各学校から企画書が提出され、先日市長、副市長、各部長による検討会が行われました。担当の戸澤指導主事が作成した計画案が大変優れたものであったため、市の現状と課題が浮き彫りになり、提案された企画も具体的なものが多かったです。当局による検討会も3時間に及ぶ会議となり、実施にあたり、何が必要で何が足りないのか検討する会になりました。市長、副市長は子どもの提案を出来るだけ市政に反映したいと考えており、それゆえに単に褒めるだけでなく、当日は実施にあたっての課題が提示されると思われまます。このような提案型の子ども議会であれば確実に参加した子どもたちの市への関わり方が変わってくると思います。委員の皆様におかれましても当日の参加のほどよろしく願いいたします。

次に教育長の報告についてです。

－資料により説明－

教育長の報告について何かご質問ありませんか。

－質問なし－

それでは審議案件に入ります。議案審議、議案第28号令和5年度仙北市一般会計予算の教育費についてお願いいたします。

(湯澤教育総務課長)

それでは、議案綴の1ページ、2ページをご覧ください。議案第28号令和5年度仙北市一般会計予算の教育費について、来年度予算の要求概要に関しまして、資料の順番に説明をさせていただきます。2ページ教育総務課ですけれども、記載のとおりになっておりまして、令和4年度とほぼ同様の内容となっております。主な項目としましては、一番下の方の育英奨学資金繰出金です。仙北市に住所があつてお仕事をされている方へのゲットバック制度ということで、9,708,000円の予算要求となっております。以上です。

(毛利学校適正配置準備室参事)

続いて、3ページ目の学校適正配置準備室についてですが、こちらも今年度と同じ予算内容になっており、主な内容としましては、消耗品費、検討委員会委員への謝礼、交通費、そして郵送費などとなっております。以上です。

(鈴木教育次長兼学校教育課長)

学校教育課です。4ページは歳入です。こちらは例年どおりとなっております。5ページからご覧ください。歳出の方で少しご説明したいと思います。6ページの10款2項3目のGIGAスクール構想推進事業費、一番上になりますが、13,999,000円になります。こちらの方は情報学習支援員を1名から3名に増員するという計画で動いております。いずれこれが実現してほしいなと思っております。それから、10款1項4目のスクールバス管理運営費です。こちらも42,384,000円と大きな額になっていますが、桧木内小・中と角館小のスクールバスを2台更新する予定となります。それから1

0款2項1目の学校施設環境改善交付金事業費ということで、7,674,000円を計上していますが、こちらはトイレを洋式化するというので、今動いております。こちら小学校費ですので、来年度は是非、生保内小の方を洋式化していきたいと考えております。続きまして、7ページをご覧ください。真ん中辺り、10款3項1目の学校施設環境改善交付金事業費。こちら中学校費となります。トイレの洋式化ですが、来年度は角館中、神代中、西明寺中を是非、洋式化したいと考えております。

続きまして、北浦教育文化研究所についてご説明いたします。9ページをご覧ください。歳出の方を2点説明いたします。10款1項5目のJFA夢先生招聘事業費です。1,498,000円の計上です。実は毎年、小学校5年生だけに行っていたのですが、来年の中学校2年生は丁度、小学校5年生の時にコロナ関係でこのJFA夢先生の授業を行っておりません。このままだと夢先生に会わずに卒業してしまうので、それで是非、何とか中学校2年生にもということで予算を上げております。最後、仙北市ヤマメ・サクラマスプロジェクト事業費4,117,000円ですが、こちらはアドバイザー2名の人件費ということで計上しております。以上です。

(藤村教育部長)

10ページ、総合給食センターの歳出、10款6項3目についてご説明いたします。給食センター管理運営費117,657,000円は、令和4年度の当初予算104,382,000円と比較し、13,000,000円程増額となっております。これは、電気料やガス代の高騰に関する部分が一番大きくなっております。また、車輛維持管理費、給食材料費等は、前年とほぼ同金額となっております。生徒数の減少により若干給食材料費が少なくなっている状況です。以上です。

(武藤生涯学習課長)

生涯学習課です。11ページと12ページになります。歳入は2項目ありまして、社会教育費補助金に関しては、金額が今年度と比べると3倍近くになっています。これは歳出の方も同様に3倍近くになっておりますので、歳出の説明の際に説明させていただきます。歳出は、資料の真ん中の辺りにあります、学校・家庭・地域連携総合推進事業費が、昨年の3倍強となっております。これ以外の事業は例年どおりです。今説明しましたこの事業は、来年度からコミュニティスクールに本格的に取り組んでいこうとすることで、コーディネイターの的な方を選任する事業費が今年度に無い事業費ということで、今年度の3倍位になっているものです。

(高橋中央公民館長)

中央公民館の当初予算につきまして、13ページをご覧ください。歳入につきましては、総合開発センター使用料が農業使用料となっておりますけれども、これは今までと同様に所管が農業施設の開発センターということでこちらになっております。社会教育使用料としましては、桧木内地区公民館、角館公民館ということで、収入の部分が二つあるという形は変わっておりません。歳出です。10款5項1目の花いっぱい運動推進事業につきまして、4年度は一旦中止としておりますけれども、花苗配布事業分ということで、絞った形ですけれども594,000円計上しております。中央公民館管理運営費につきましては、4年度に行った工事等がなくなりますので、その分減額となっております。また、活動推進費につきましても、各教室、講座等を絞った形で計上しておりますので、昨年度より少々減額となっております。後、下から二つですけれども、各実行委員会等への開催補助金につきましては、約半分の額を計上しております。以上です。

(佐々木教育次長兼角館公民館長)

角館公民館小野崎家です。15ページをご覧ください。歳入に関しては例年どおりとな

っております。歳出につきましては、通常経費のみ、新規事業等はございません。以上です。

(真崎田沢湖図書館長)

16ページをご覧ください。仙北市民会館の当初予算概要ですけれども、歳出の上から3番目、市民会館施設整備事業費として、舞台吊物を安全に使用するための自動昇降工事費を計上しました。315,990,000円と非常に大きくなっております。それ以外については歳入歳出とも大きな変動はありません。

続きまして17ページ、田沢湖図書館の予算概要になります。歳入歳出とも大きな変動はございません。4%の削減を目指しましたが、大きな削減はできませんでした。

(松橋学習資料館・イベント交流館長)

学習資料館・イベント交流館です。ページは18、19になります。初めに歳入ですが、社会教育使用料、こちらはイベント交流文学館の入館料ですが、希望を込めて今年度と同じ80万円で計上しています。歳出ですが、予算縮減の話がございまして、あちらこちらから少しずつ削っております。特にイベント交流館の展示費につきましては、今年度も厳しかったのですが、来年以降も更に厳しい状況ですので、なるべく館藏品や県内から調達できる物を展示して、何とかイベントを開催したいと考えています。

(高橋平福記念美術館参事)

平福記念美術館です。20ページをご覧ください。記載のとおりです。歳出、常設・企画展示費を大幅に予算削減している状況です。以上です。

(須田教育長)

来年度の当初予算に計上する案です。この後、市長査定等あり、議会をってから確定になるものです。ご質問ありますか。

(橋本委員)

GIGAスクールの情報支援員、1名から3名に増員するという事で要求して下さってよかったと思います。就学援助費の中で、オンラインの学習通信費が含まれているかどうかをお聞きしたいと思います。それからトイレの実施設計、工事ですけれども、交付金事業のようですので、100%のものなのでしょうか。そこら辺教えてください。それから、ヤマメ・サクラマスプロジェクト、これは是非、予算措置されるよう頑張りたいと思います。花いっぱい推進事業ですけれども、今後の方向性について検討されたと思います。この後は花の苗の配布を花いっぱい推進事業のメインということでやっていくのかどうかお聞きしたいと思います。それから16ページですけれども、市民会館の施設整備事業で、舞台の吊物に関するものようですが、315,990,000円ということで非常に要求額が大きいと思います。全て一般財源ではないと思いますけれども、特定財源とかそういうものの当てがあるのかお聞きしたいと思います。

(須田教育長)

学校教育課の方からお願いします。

(鈴木教育次長兼学校教育課長)

10款1項3目の要保護及び準要保護児童生徒就学援助費、5ページの下になりますが、そこに就学援助費ということで小学校、中学校あります。オンライン学習通信費もこの中に含まれております。昨年度から懸案だったところをケアするよう入れております。トイレの交付金ですが、こちらは3分の1の補助と聞いておりますので、それをしっかり交付していただけるようにしていきたいと思います。

(真崎田沢湖図書館長)

16ページにあります仙北市民会館施設整備費について、信田館長が不在のため、私か

ら説明させていただきます。市民会館の吊物の昇降につきましては、今手動で行っている状態です。県内の大きな会館等は、ほとんど全て電動化し安全に使用されております。安全に使用するために電動化を目指すということです。金額が315,990,000円と非常に大きいのですが、これにつきまして市長と個別に交渉等はしていますが、現在、補助金は使えない状態で、予算化が非常に厳しい状態です。その中でも計上させていただいたところです。

(高橋中央公民館長)

花いっぱい運動推進事業につきましては、令和5年度の計上に花配布部分を付けさせていただきました。市民の皆様のご要望としましては、花配布も、一斉植栽の部分も非常に要望が高かったことをございます。来年度予算を付ける部分に関しましては、花配布部分の本数を制限するような形で、予算化の計算が立てやすかったところもあります。一斉植栽に関しましては、植栽期間をどのようにするのか、ボランティアさんの関係がどの程度集まれば、どの程度の事業ができるのかというのを検討する部分で、まだはっきりとした期間が割り出せなかったこともあり、今回は花配布をすることにより事業を継続する意味合いもあり、花配布事業の方を計上させていただきました。一斉植栽に関しましては、中央公民館で引き続きどの程度の事業をどのくらいの予算でできるかを検討して、引き続き再開の方に向かっていきたいなと思っておりますが、今のところ中々予算的にも事業的にも目途が立たないということで、今回このような要求をさせていただきました。

(須田教育長)

よろしいでしょうか。その他ありますか。

(坂本教育長職務代理人)

何点が質問させていただきます。ヤマメ・サクラマスプロジェクトのアドバイザー2名という件ですが、この2名はどのような資格をお持ちの方で、どのような方を採用予定なのかということ。常駐かどうかということをお伺いいたします。

2点目、来年度、制服の導入について上がっていると思いますが、制服の関係はこの予算の中に含まれているのかどうかということ。

3点目、先日のLGBTQの学習会、非常によかったです。難しかったですけれども、取っ掛かりとしては、詳しい方たちに集まっていたなという感じを受けました。引き続き学習の必要があると思いますが、その勉強に関する予算等はどこの部分に含まれているのか教えて下さい。お願いします。

(鈴木教育次長兼学校教育課長)

ヤマメ・サクラマスプロジェクトのアドバイザーですが、教員OB、OG辺りを考えております。そして北浦教育文化研究所に常駐という形で配置し、いろんな面でお願いできればなと思っています。制服につきましては、まだ各学校で検討委員会を設置するとか、それが今年度であったり来年度であったりという形で、まだ具体的には、今やっと動き出した状態です。そういう点で、教育委員会から予算を配当して「これをやってください」という段階ではありません。また、補助が出ればいいのですが、非常に厳しいものがありますので、各学校で今検討している状態です。こちらの方へはまだ計上していません。

(高橋中央公民館長)

先日、LGBTQということで塚田先生の方にリモートでのご講演をお願いして、私も講演に携わって、いろいろな課題があって、まだまだ勉強していかなければならないことが非常にあるなと思ったところです。今後は、13ページの公民館活動推進費の中に、各教室等の報償費ということで、各公民館の予算が計上されております。今のところどうい

った部分でという明確なところが出ている訳ではないんですけれども、各種講演会にも利用できるような部分として予算を計上しております。今後具体的に皆様のご要望等を踏まえながら、準備を整えていくための予算ですので、よろしく申し上げます。

(須田教育長)

LGBTQについては、学校関係で一番関わってくるのは養護教諭の先生方ですので、養護教諭の方には、是非情報交換会とか学習会を促していきたいと思っています。

その他ありますか。

－質問、意見なし－

議案第28号については、承認といたします。

それでは報告に入ります。報告第28号仙北市議会一般質問について申し上げます。

(藤村教育部長)

一般質問の答弁内容についてご報告いたします。今回は3名の議員から一般質問がありました。一人目は中村和彦議員から、不登校、別室登校について、記載の4点についてでした。答弁では、はじめに仙北市教育委員会の不登校児童生徒に対する仙北市の方針と具体的な対応について説明した後で、(1)市内小・中学校の現状については、それぞれの人数。(2)その児童生徒に対する指導や学習は、個々の事例に応じ、生活習慣の見直しやタブレットを活用したりリモート授業など、教職員が寄り添いながら支援を行っている旨を答弁しております。(3)保護者とのコミュニケーションについては、スクールカウンセラーからのアドバイス。市の福祉関係や児童相談所と連携するなどの様々なところから支援をするようにしていきますと答弁しております。(4)スペース・イオ等の活用については、スペース・イオには、指導者3名、スクールカウンセラーが配置されており、個に応じた指導・支援を行っていることや、さくら教室では北浦教育文化研究所所属の総合教育アドバイザーが学習指導を行い、悩み事の相談に乗るなど、心身の健康保持に努めていることなどを答弁しております。最後に、学校では不登校対策委員会を定期的に行い、児童生徒の様子を情報交換しながら、少しの変化にも気づこうとし、未然防止し不登校が発生しないような「毎日行きたくなるような学校づくり」「自分の成長を実感できる授業づくり」を推進していくことや、児童生徒が自らの進路を主体的に捉えて社会的に自立していけるように支援し、再質問では、誰をも取り残さない教育を実践していくと締めくくっています。

二人目は高久昭二議員から、学校給食費無償化に向けた段階的取組みと保護者負担軽減についてです。答弁では、最初に給食収入の現状について、小中合わせて約79,410,000万円程度が賄い材料費の財源とされていること。仙北市は令和2年度から3年間継続して、給食費の一部減免措置を行っていること。このような取り組みを行っている自治体は県内では無いことを答弁し、給食費の無償化までは至っていませんが、現状ではまず物価の高騰による材料代や光熱費の高騰について、保護者の負担なしで、どのように乗り切るかが市としての課題となっており、今後状況によっては、値上げを検討すべき時期にきているのではないかと苦慮していますが、今年度は、これらの高騰分を保護者に転嫁することなくやりくりしていく現状を伝えました。また給食費の無償化については引き続き検討していくこととし答弁しています。

三人目の高橋輝彦議員から、将来に持続可能な学校適正配置についてでした。答弁の前段では、令和8年度までに進める学校適正配置の今後の進め方について、全体的な概略を述べました。(1)学校適正配置検討委員会の設置と内容については、設置の時期と2回にわたった検討談議について説明しました。(2)白岩小学校の出生数の減少から、角館小学校への就学指定校の変更が増加する傾向にある状況で、教育委員会が主導して、統合

に向けたスケジュールを明示した草案を作成し、保護者及び地域住民から意見を聞く形で進めてもらいたいという要望が多いことに対する所見について、という質問がありました。こちらの答弁としましては、学校の第一義的な役割は、子どもに教育を行うことで、地域にとっては学校を核としてつながる交流拠点としての役割を有していることに配慮が必要で、十分に地域住民の意見をくみ取って進めることが重要であると考えていること。現状からスピード感を持って議論を進めることが必要であることも認識しているが、やはり住民主体の議論が活発に行われ、円滑に進むよう地域に寄り添って必要な情報提供をするなど、サポートを積極的に行っていくことと、地域全体として統合を望む方向に意見集約があった場合には、全体計画を待たずに、具体的に統合に向けた協議を地域と共に進めていきたいと答弁しています。（3）準備期間に3年必要だとする根拠についての質問に対しては、中川小学校と角館小学校の統合事例を紹介し、合意形成と通学方法の検討、統合準備委員会を組織し、各種計画や交流活動など、様々な協議や準備期間の閉校関連行事等の検討、実施など、最低でも2年、できれば3年かけてしっかり準備した後の統合が望ましいと考えている旨を答弁しております。一般質問の概要は以上となります。

（須田教育長）

中村議員からの不登校についての質問については、市長、副市長から検討会の方で、これだけ学校が丁寧にやっていることについて、議員の皆さんから理解していただいた方がいいということで、かなり長くなりましたけれども、学校が取り組んでいる内容を全て報告させていただきました。もう一つ、今年度、坂本委員から仙北市の不登校の方針についてのお話がありましたので、今まで行っていたものを更に明文化しましたので、それを読み上げさせていただきましたものです。

何かご質問、ご意見ありますか。

－質問、意見なし－

次に、報告第29号就学指定校変更の承認についてお願いします。

（鈴木教育次長兼学校教育課長）

資料の方ご覧ください。令和4年12月7日付、仙教発教総第372号で意見を求められた就学指定校変更について答申いたします。

－資料により説明－

以上です。よろしく申し上げます。

（須田教育長）

ご質問ありますか。よろしいでしょうか。

－質問なし－

それでは、その他に入ります。いじめ、不登校対策についてお願いします。

（鈴木教育次長兼学校教育課長）

11月のいじめ、不登校の状況についてご報告します。最初にいじめについてです。4月からですが、4月は12件、5月が16件、6月が24件、7月が16件、8月が7件、9月が7件、10月が15件、11月は17件でした。

続きまして、11月の不登校児童生徒について、小学生3名、中学生14名、計17名となっております。

以上、11月のいじめ、不登校の状況です。

（須田教育長）

いじめ、不登校についてご質問等ございますか。

－質問なし－

では、教育委員会定例会会議録のホームページ公開についてお願いします。

(湯澤教育総務課長)

令和4年第15回仙北市教育委員会定例会会議録、令和4年10月20日開催のものとなっております。

－資料により説明－

誤字脱字等ありましたら、私まで教えていただきたいと思います。よろしく願いいたします。

(須田教育長)

よろしいでしょうか。次に、学校適正配置準備室からの報告をお願いします。

(毛利学校適正配置準備室参事)

本定例会の前に行われた協議会において、学校適正配置方針（案）について検討させていただきました。この学校適正配置方針（案）については、今後も教育委員会の定例会、そして学校適正配置検討委員会の両方に諮りながら、今年度内に適正配置方針を策定したいと考えております。また、仙北市のホームページでは、学校適正配置のページを作っていただきまして、おそらく今日中、もしくは既にホームページのトップページから学校適正配置のバナーから直接、適正配置のページに移るものが設定されているはずですが、そちらでは、適正配置検討委員会の議事録、そして市民の方々や児童生徒の方々に協力していただいたアンケート結果の詳細版、市民保護者の自由記述をまとめたもの等を見ることが出来るようになっております。こちらを報告させていただきます。

(須田教育長)

その他ということで何かありますか。

(湯澤教育総務課長)

教育委員さんの机の上に、10月4日に開催された総合教育会議の会議録が総務課の方から届いておりますので、後で目をとおしていただきまして、修正等ありましたら、私の方まで電話でも結構ですので教えていただくようお願いいたします。もう一つですけれども、北浦教育文化研究所の方から、年明けの1月の子ども議会の方のご案内差し上げておりますので、そちらの方も是非ご覧いただきたいと思います。よろしく願いいたします。

(藤村教育部長)

事務局の方から報告です。3月の小・中学校の卒業式及び4月の入学式についてです。やはりコロナの感染状況を鑑みて、ご来賓のご案内はしないということが校長会で決定されましたので、ご報告させていただきます。全ての小・中学校で同様になりますので、よろしく願いいたします。

(須田教育長)

その他ありますか。長時間にわたりありがとうございました。これで令和4年第18回仙北市教育委員会定例会を終わります。ありがとうございました。

(閉会宣言：午後3時20分)